

M-3-4-2

資料名 大陸旅行の道しるべ 北支 蒙疆 中支の巻

出所 満鐵小樽鮮満支案内所

作成年 19411130

寄贈者

受入

注記 30P 21×15cm

北支蒙疆中支の巻



昭和十六年十一月

業務案内

一、滿鮮支案内所は南滿洲鐵道株式會社及華北交通株式會社が「日本朝野の大陸への認識を求め之が旅客又は貨物の輸送の便宜を計るため」に設けてある國策的奉仕機關であります。

一、鮮滿支地方の産業經濟、交通其他事情紹介、旅行の斡旋、旅行案内記贈呈、鮮滿支荷物運送及通關に關する説明を無手数料で致します。

一、鮮滿支事情の出張講演、映畫會、展覽會資料及映畫の貸出、刊行物に依る紹介宣傳を無手数料で致します。

一、鮮滿支案内所は小樽、東京、大阪、名古屋、新潟、敦賀、門司、下ノ關、長崎の九都市に在り小樽は北海道、樺太を所持區域として前掲の業務を取扱ひ致します。

滿鐵鮮滿支案内所

小樽	東京	大阪	名古屋	新潟	敦賀	門司	下關	長崎
稻穂町東六丁目	京橋區銀座二ノ一	東區堺筋安土町	中區榮町一ノ一〇	古町通六	驛前大通電	門司稅關前電	下關驛前電	萬屋町七九電
電	電	電	電	電	電	電	電	電
四七五〇	三二二七二	一一七七八〇	四四七七一一	三三九七三九	四一八	三三二一四七〇	一九六二	四七八八

樽案旅〇一第九號三六

昭和十六年十一月二十五日

滿鐵鮮滿支案内所長

白川義隆



殿

大陸旅行の道しるべ(北支、蒙疆、中支の卷)送附の件

拜啓益々御清榮之段奉賀候

陳者弊社は曩に滿洲事變十周年記念當日を卜し「大陸旅行の道しるべ滿洲の卷」を發行御参考に供し候處時局の推移は更に新支那事情闡明の緊要なるを痛感せらるゝものあり之か姉妹篇として今般「北支、蒙疆、中支の卷」を上梓致候に付ては前者と併せ御高讀被下度茲許一部御送付申上候 敬具

昭和十六年十一月

大陸旅行の道しるべ

〔北支  
蒙支  
疆支  
の  
卷〕

滿鐵小樽鮮滿支案内所

目次



はしがき……………一

北支蒙疆の概念……………二

華北交通概観……………三

◎旅行の季節……………五

◎服装と持物……………六

◎旅行の手續と制限……………六

    ◆旅行の制限……………六

    ◆入國許可の範圍……………六

    ◆旅行手續……………六

    ◆携帶金其他の制限……………七

    ◆携帶防疫證明書……………七

    ◆學生生徒の旅行制限及禁止……………八

◎旅行ルート上の注意事項に就て……………八

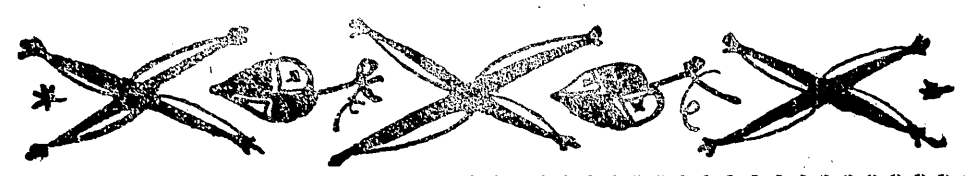
    ◆朝鮮廻り北京まで……………八

    ◆神戸からの上下船案内……………〇

    ◆長崎から上海行……………〇

◎新支那主要の相貌……………〇

    ◆觀光地北京……………〇



◎阿片と支那人……………〇

    ◆上海……………七

    ◆杭州……………七

    ◆蘇州……………五

    ◆南京……………四

    ◆漢口……………三

    ◆徐州……………三

    ◆山西の寶庫太原……………三

    ◆青島と日本の古代を巡る史實……………三

    ◆青島……………二

    ◆孔子を祀る曲阜……………〇

    ◆支那第一の名山泰山……………〇

    ◆日支事變の發端地蘆溝橋……………〇

    ◆黃河と鐵橋……………九

    ◆黃河……………八

    ◆水郷濟南……………八

    ◆天津租界と公園の國際色……………七

    ◆商業都市天津……………六

    ◆雲崗石佛寺……………五

    ◆大同……………四

    ◆新蒙古の首都張家口……………三

    ◆京包線に乗つて……………三

    ◆通州と通州事件……………三





## 雲崗の石佛

……大同……

雲崗の石佛は、北魏時代皇紀千二百二十年頃の作と推定される。この地は一望の高原をなし、そこには一條帯のやうに陥没した武周川の溪谷が横つてゐる。ここにこの新興民族はその熱烈なる信仰の所産として、いはゆる雲崗の石窟を建設したので、今残るこの遺跡は當時の文化を如實に語る一大記念物といふべきである



は し が き

一、東亞共榮圈確立の爲の大陸の役割は今更申すまでもなく、國防上に於ても經濟上に於ても、我日本と不可分の關係にして日本の經營參加なくして大陸の平和と繁榮の招來なき如く之と離れて日本の繁榮も亦考へられない。

二、東亞永遠の平和と繁榮は、之が圈内諸族の相互認識に依る充分なる理解を俟ち、始めて完きを期し得ると考へられ殊に支那事變の解決に於て然りと思ふ。

三、如上の意味に於て殊に時局の關係上各種旅行案内書の頒布が從來の如く豊富に且つ容易にと考へられず、著しく窮屈而も困難になると思はる、爲に本しるべを從來の此の種パンフレット類の収録として發行參考に資すると共に毎年度初め内容を新にして其の責を果し度と思ふ。

—— 順次御回覽を乞ふ ——

昭和十六年十月

滿鐵小樽鮮滿支案内所長

白 川 義 隆

## 北支・蒙疆の概念

### 地域

北支 東は渤海と黄海に臨み北と西は長城線を越えて蒙古高原に連なり、南は秦嶺山脈と、河河谷に劃らるゝ西高東低の平野。黄河水系による沖積土とに蔽はる。

蒙疆 北にゴビ沙漠、東に大興安嶺、西は新疆省を越えて中央亞細亞に連なり、東南を長城線に劃らるゝ、ほど一メートル以上の高原。

### 面積

北支 四十三萬二千平方キロ

(但し前掲地域に據る正確な數字なきため、こゝでは河北・山西・山東の三省に限る——以下同じ)

### 蒙疆

六十一萬五千平方キロ

日本は六十七萬五千平方キロ、滿洲は百三十萬平方キロ

### 人口

北支 八千三百六十萬人

一平方キロ 一九五人

### 蒙疆

一平方キロ 一〇人

日本は九千八百萬人・一平方キロ一四五人、滿洲は三千八百萬人・一平方キロ二八人

### 政府

北支 華北政務委員會

北京

### 通貨

蒙疆 蒙古聯合自治政府

張家口

### 北支

中國聯合準備銀行券 日本金圓と等價

### 蒙疆

蒙疆銀行券 日本金圓と等價

### 石炭

埋藏 一千七百億噸 瀝青炭七〇%、無煙炭三〇%、日本は百七十億噸、滿洲は八十億噸

### 鐵鑛

埋藏 一千五千萬噸 純分平均五〇%、日本は七千萬噸、滿洲一億二千萬噸

### 耕地對總面積

河西 四五% 山東 四四% 山西 二三% 蒙疆 九%

### 農民

總人口の八割五分

### 紡績

綿糸六十五萬捆 (能力) 綿布一千三百萬反 (能力)

### 小麥

一億三千萬擔

### 高粱

七千六百萬擔

### 牛羊

四百六十萬頭 (飼育數・以下同)

### 山羊

六百四十萬頭

### 豚

九百五十萬頭

### 苦力

百萬人 (滿洲向移住)

### 鐵道

六千キロ (現状)

### 自動車路

一萬四千キロ (現状)

### 水運路

四千一百キロ (現状)

## 華北交通株式會社一覽

華北交通は華北に於ける鐵道、自動車、水運並に之に附帶する諸事業の經營及び蒙古政府の委託に依る蒙疆の鐵道並にその附帶事業に當るべく昭和十四年四月、日華蒙協力の上に創設された特殊會社である。が、華北交通は従來列國が利權吸收の手段として慣用したやうな單なる營利會社ではない。近代交通機關が國家社會の動脈であり、産業文化開發の礎石であることは謂ふを俟たないが、特に華北蒙疆の現状に於ては、直ちに國防の幹線となり防共の城砦ともなるのである。建設作業と軍事行動とが同時に行はねばならぬ今日に在つては、その整備如何は直ちに國家の消長、社會文化の盛衰に影響するのであつて、こゝに華北交通の持つ重大なる責務があるのである。

本社を北京、支社を東京に置き、天津、北京、張家口、濟南、太原、開封の各都市に鐵路局を設置し、現事態に適應した下部組織を以て之が運営を行つてゐる。

### 社員

十一萬人 (日本人 三萬人、中國人 八萬人)

### 資本金

三億圓

出資内譯

### 事業

#### 鐵道

五千九百料

鐵道は會社業務の根幹である。事變前に於ける舊北支鐵道營業料の殆んどは既に華北交通の經營下に入り、新線の建設或は既存施設の修理擴充等今日では全く面目を一新するに至つた。また輸送実績も、あらゆる悪條件に拘らず躍進の一途を辿りつゝあり、昭和十五年度に於ける貨物は前年度に對し六十三%、旅客では三十六%の激増を示してゐる。

#### 經營主要路線

京山、京漢、津浦、京包、京古、膠濟、石太、同蒲、石德、隴海各線

#### 鐵路工廠

唐山、天津、長辛店、石門、太原、南口、張家口、濟南、徐州

#### 自動車

一萬四千料

鐵道の密度が著しく低い北支蒙疆の如き地域に於ては、その補助又は代行機關として自動車の占むる役割は大きい。



従つて、會社創立當時僅か五千餘料であつた路線は二年後の今日、一万四千料に達し、昭和二十年には現在の約三倍の三万五千料に延長する豫定である。

輸送実績では貨物六、旅客四の割合であり、事變以來萎縮してゐた奥地物資の出廻りを促進し、聯銀券の流通力を擴大せしめ併せて治安の確立に著しい効果を顯してゐる。

**水運 四千料**

奥地肅清工作の進むにつれ、鐵道、自動車網の擴張と共に内河水運の啓開にも鋭意着手し、今日では黄河、南北運河、大清河、子牙河等をはじめ約四千料を經營するに至つた。

**主要經營河川**

東北河、北運河、子牙河、大清河、小清河、南運河、大運河、黄河、鹽運河

尙一方、港灣の建設にも着手し、その經營碼頭(埠頭)は左の六箇所に及んでゐる。

天津持三區碼頭、塘沽碼頭、新河碼頭、招商局碼頭、北砲臺碼頭、連雲碼頭

**附帶事業**

**警務**——華北蒙疆の治安は漸次確立せられつゝあるとは謂

へ、未だ兵匪の跳梁甚だしく各種の妨害が繰返へされてゐるのである。特に彼等の攻撃の主要目標となるのは交通施設であつて、鐵道關係だけでもその被害は毎月相當の件數に上り、これに依つて殉職せる社員は七百名を越してゐるのである。かゝる情況下にあつては會社側も一切を軍に委ねることは出来ず、自ら警務局を設置し、多くの武装従事員を擁して管下水陸交通網の警備治安に任じてゐるのである。こゝに大陸交通の著るしい特徴があり、華北交通運營の苦心の一つも此處にあるのである。

**愛路**——會社では前記の如く多數の警務従事員と巨額の警備費とを以て水陸交通の警備に當る傍ら、これら交通路周邊の民衆を組織して側面的に交通路を護らしめてゐる。之が愛路村である。鐵道、自動車、水運路線の兩側各十キロの帶狀地域内の村落は悉く愛路村と指定、組織されてをりその總數は八千ヶ村三千万人に上つてゐる。これら愛路村は一民愛路、万民享福のスローガンを掲げて「吾等の交通路は吾等の手で護る」といふ觀念の下に會社に協力しつつあり、一方會社では農産品の改良増産或は家畜の品種改良その他農事の指導を爲し、更に春秋には厚生列車や厚生自動車、厚生船等を編成して各村を隈なく訪問して慰問、激勵するなど「慰民」を以つて之に酬ひてゐるのである。

**保健**——主要八都市に鐵路醫院を、沿線三十六都市には同

分院を設置して社員と家族の診療に當る傍ら醫療施設に恵まれない地方民衆の需めにも應じてゐる。一方、保健科學研究所を設置して、傳染病や風土病或は氣候風上等の調査研究を行つてゐる。

**教育**——扶輪學校三十校、生徒數九千五百人

鐵路中央學院(北京)

鐵路學院(北京、天津、濟南、張家口、太原、開封)

鐵路警務學院(北京)

**農事**——中央鐵路農場(通州)同分場(昌黎)愛路惠民研究所(十一ヶ所)鐵路苗圃(十一ヶ所)林業所(張家口)

**觀光施設**——東海ホテル(青島)海濱賓館(北戴河)連雲ホテル(連雲)東方賓館(山海關)

**投資專業**

蒙疆汽車公司(資本金六百萬圓、會社出資四百萬圓)

天津交通股份有限公司(資本金二百萬圓、會社全額出資)

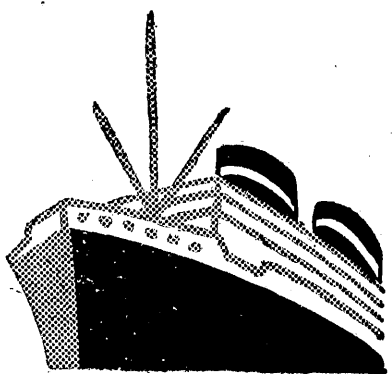
青島交通株式會社(資本金二百萬圓、會社全額出資)

華北車輛株式會社(資本金三萬圓、會社出資額八百萬圓)

その他 青島水道、青島興發兩會社、山海關汽水公司にも一部投資してゐる。

**厚生機關**

社員會、消費生計所、社員圖書室、巡回書庫



**●旅行の季節**

春——三月のなかげから、六月頃までは暑からず寒からずの氣候であるが、所謂蒙古風の吹く日が多い。

夏——日中は相當に氣温も向上するが、夕方から朝にかけては大陸的氣候で涼しくなり、内地の様にも暑くはない。

秋——八月の終り頃から十一月までは爽やかで「北京の秋は世界一」と言はれる程すばらしい。旅行には最も好い時期である。

冬——北京、天津あたりは大して寒くなく、防寒外套などはなくても過せる程度である。

### ● 服装と持物

男女ともに洋服が何かにつけて便利である。  
 鐵道沿線をずつと離れた奥地への旅行は別として、内地旅行と同  
 じ持物で充分である。たゞ夜は幾分冷えるからセーターの一枚も持  
 参すればよい。雨は比較的少いから傘よりはレインコートの方が便  
 利である。

### ● 旅行の制限と手續

#### ■ 旅行の制限

昨十五年五月七日の閣議で東亞新秩序促進の見地から、同圈内向  
 圓貨の放出を阻止し、宿舍の逼迫或は交通の緩和をも併せ圖るため  
 左のやうに支那向旅行に對して一定の制限がなされた。

#### ■ 入國許可の範圍

家事用務、現實の商取引、定住又は現地商社勤務等を目的とする  
 もので、在支關係先所轄領事館警察署長の許可證印ある渡支事由證  
 明書を必要とする。

#### ■ 旅行手續

先づ現地にある親戚又は知人等宛相當事前に  
 ○ 戸籍謄本 ○ 身元證明書（現住所明記のこと）

○ 渡支せんとするもの、手札型寫眞（但し家族数人同伴の場合は  
 全員一葉に撮影のもの）二葉

を送附し所轄領事館警察署長宛渡支事由證明願を提出して之が  
 證明書の下附を受くること。

次に現地領事館警察署から下附された渡支事由證明書及び戸籍  
 謄本、寫眞（同前）二葉、種痘並コレラ豫防注射證明書を揃へ  
 て左記書式に依る北支旅行身分證明願添附居住地警察署長より  
 身分證明書の下附を受くるのである。

即ち 第一 現地領事館警察署長宛に

第二 居住地警察署長宛に

の二段の手續を必要とするのであつて、豫め準備すべき、關係  
 書類を更に列記すれば左の通りである

イ、戸籍謄本 二通（現地、居住地各一通）

ロ、身元證明書一通（現地）

ハ、寫眞 四葉（現地二葉、居住地二葉）

ニ、北支旅行身分證明願 一通（居住地警察署）

ホ、種痘並コレラ豫防注射證明書 各一通（居住地警察署）

尙現地領事館警察署長宛提出する渡支事由證明願は親戚或は知  
 人等に於て作成し提出するのである。

### 身分證明願書式

（旅行の場合）

北支旅行身分證明願	
一、本籍	
二、現住所	
三、職業氏名、生年月日	
四、旅行ノ目的又ハ理由	
五、旅行期間、昭和年 自 月 日 至 月 日	
六、旅行経路及行先地	
右ニ依リ旅行致度此段及願出候也	
年 月 日	
右	
氏 名	Ⓜ
(居住地)警察署長殿	

（移住の場合）

北支移住身分證明願	
一、本籍	
二、現住所	
三、職業氏名、生年月日	
四、移住目的	
五、移住地	
六、家族其ノ他同伴者氏名、生年月日、職業本人トノ關係	
右ニ依リ移住致度此段及願出候也	
年 月 日	
右	
氏 名	Ⓜ
(居住地)警察署長殿	

### ◆ 携帶金其の他の制限

日本から支那への旅客は一人一家族にても同額で二百圓迄は携帶  
 自由なるが二百圓を超過するときは、大藏大臣の許可を要する。

尙北中支共通貨携帶「切符」一枚大人小兒共に付二百圓迄に限ら  
 れており之を超過する金額は信用狀或は過金爲替によらねばならぬ

### ◆ 携帶防疫證明書

携帶防疫證明書は季節により異なるも、夏期に於て最も多く、最  
 も注意を要する最近に於て渡支する旅客の必要なるものを舉れば次  
 の通りである。

- △ 煙草 煙草は左記の以内は自己の喫煙用として携帶する場合に限  
 り許可せられるのであるが必ず検査の證印を受けねばなら  
 ぬ。
- 紙巻一五〇本まで 但し一人につき何れか一種に限られ  
 葉巻一二〇本まで 葉巻紙巻等兩方の場合は各々其の半  
 量
- △ 金製品輸出禁止  
 支那向の旅行者は時計鎖、指輪、ネクタイピン、カフスポタン其  
 の他金を主とした物品は多少に不拘輸出許可申請書を税關に提出  
 し許可を受けねばならない。
- 但し萬年筆、赤銅品、金張物、金鍍金物等の如く極く少量の金  
 を用ひたものは其の必要はない。

施行地	種痘	コレラ	チブス	ペスト	赤痢
北支	入用	入用	入用	不用	不用
中南	入用	入用	入用	不用	不用
上海	入用	入用	不用	入用	入用
南京	入用	入用	入用	入用	入用
廣東	入用	入用	入用	入用	入用
芝罘	入用	入用	入用	入用	入用
青島	入用	入用	入用	入用	入用
天津	入用	入用	入用	入用	入用

### ●學生生徒の旅行制限及禁止

學生、生徒、兒童の中華民國、滿洲國への旅行は當分の間其の學校の行事たると學校以外の主催するものたるとを問はず左記要項に依り禁止又は制限されることとなつた。

- 一 中華民國への旅行は興亞學生勤勞報國隊其の他特に文部省に於て計畫するもの以外は之を禁止
- 二 滿洲國への旅行は原則として之を差止むることとし特に左記各號の總てに該當するものに限つて詮議の上之を許可することがある。

### ●旅行ルート上の注意事項に就て

- 一 單なる見學視察旅行に非らずして實習、調査研究等を具體的に明示し得るものなること
- 二 經費、輸送、宿泊其の他旅行計畫確立し且實施上の手配に付確實なる見込あるものなること
- 三 確實なる監督者に引率せられ規律ある統制行動をとるものなること
- 四 實施に付軍又は滿洲國の便宜供與を要求せざるものなること
- 五 興亞學生勤勞報國隊及滿洲建設勤勞奉仕隊作業地方への旅行を計畫中に含まるものなること
- 六 前項に依る旅行は切迫せざる時期に於て其の目的、旅行先及日程、學生、生徒、兒童氏名、監督の方法、經費額及支辨方法、授業上の關係等の詳細を具し許可の申請を爲すこと

### ●朝鮮廻り北京まで

下關驛 釜山行の船 (關釜連絡船)  
待合室汽車が下關について降りたプラットホームをまつすぐつきあたると地下道があり、それをくゞつて右側の木の橋を渡つて行くと左側に船の待合所がある。連絡船は午前と午後に出る。

税關、船の中で税關の検査がある。次の様なものを持つてゐるときは係員に申告せねばならない。

- 酒、清涼飲料(サイダー、ラムネなど)織物、砂糖、かるた(花札)寫眞機、ラヂオ、双眼鏡、蓄音器、樂器、煙草、煙草(紙巻五〇本以内、葉巻)藥用人蔘、植木など。
- 釜山へつく前に船の中で滿洲北支行列車の急行券を發賣する。

#### 釜山棧橋

船がつくとすぐ向ふ側に大陸行の列車が待つてゐる。船に待合はせてゐる急行は奉天行「のぞみ」新京行の「ひかり」北京行の「大陸」又は「興亞」である。

#### 安東

釜山からの急行は十七時間程で、安東につく。どの列車も半時間づゝとまるがその間に税關検査を受けたり兩替をしなければならぬ

△税關 手廻り荷物はつくとすぐ車内で検査があるから、安東へつくまへに網棚や腰掛の下の荷物は全部座席の上に開けておくこと、土産物や煙草などは一まとめにしておくこと。

託送手荷物(驛で送つた荷物)の検査は手廻りの品がすんでから、荷物の切符と、トランクの鍵をもつて汽車の前方、手荷物車のついてゐる右側の検査場へ行つて立會はねばならぬ。

#### 山海關

滿洲と支那との國境である。

△税關の検査 安東と同様に税關の検査がある。

△お金 税關の検査がすめばホームのなかごころの渡り橋の下に兩替所があるからお金は全部支那のもの(中國聯合準備銀行券)に兩替してもらはねばならぬ。兩替の限度は大人子供にかゝらず「切符」一枚につき、二百圓まで兩替してくれる。北支では聯銀券以外は絶対に通用しないから兩替することを忘れてはならぬ。

△携帶品の證明 内地から寫眞機、双眼鏡などの高いものを持つて來たときは、歸りがけに輸入品と見なされて税金を課せられるから税關に言つて證明を貰はねばならぬ。

△身分證明書の検査 車内で軍又は警察の係員が取調への時は直ちに、質問されたら事實のまゝを卒直に回答すればよい。汽車がつくと同時に調査書が配られるから必要事項を書いておき、身分證明書を見せるときに渡さればならぬ。

### ◆神戸門司から船での乗下船案内

△乗下船案内 東亞海邊の天津行青島行の船が神戸から出て門司へ寄港それから夫々目的地へ向けて直航しておる神戸では税關橋内の岩壁に横付けされ、門司では船によつて岸壁につくものと沖懸のものがある。

沖懸りの時は小蒸汽船で無料で本船まで運ばれる。天津行は天津まで廻航せず塘沽とまりになつてゐるから塘沽から、汽車或はバスによらねばならぬ。

### ◆長崎から上海行

長崎からは上海直行の船がある。上海方面へ行く場合特に注意しなければならぬことは軍票以外の流通は禁じられておるので乗船の前に、日本銀行(本支店又は出張所)に於て軍票に兩替せねばならない。

## ●新支那重要地の相貌

### ◆北京 (人口一七〇万人 内地人 九万人)

北京を「東洋のパリ」と稱する人がある。永い間、大帝國の國都として磨きをかけられて来た北京は、さすがにとつしりとした落ちつきと氣品に溢れてゐる。

知つてゐる町の目標であるのでこれさへ念頭において乗物を利用すれば先づ迷うやうなことはない。

「紫禁城」は五百餘年前の建築物で、明、清の朝を経て幾度も補修されて来たため、黄色の屋根瓦をいたゞく諸宮殿は、古色を帯びてはゐるが往時の帝室の威望の名残りを留めてゐる。

其の南半は、天子の朝儀にあてられた外朝の諸大殿、北半は帝后の起居された内遊諸宮殿となり、外朝の正門たる午門は、世界最大門の建築として知られ、現在は歴史博物館となつてゐる。其の他歴代の帝后を奉祀する太廟は故宮博物院の分院、や紫禁城の鎮山で且明の崇烈帝の悲痛な最期を遂げられた景山は、それ／＼遊園地として開放されてゐる。尙外城には天子親ら五穀豊稔を祈願した天壇や天神地祇を祭つた先農壇を始め、寺院陵墓など余多の遺物がある。「雍和宮」雍和宮は孔子廟の東にあり、康熙朝に於ては雍親王府であつたが雍正帝が大帝を繼がるゝに當り空邸となつたので、蒙藏統治の政略に之を喜捨して喇嘛の道場としたものである。

「天壇」天壇は永定門内にあつて明の永樂十八年(皇紀二〇八〇年)の竣工である。内外二壇に圍まれてゐるが、外壇の周圍は九里十三歩(約六軒)と稱せられ、城内の面積は約我が八十一万坪に當る。天壇は天子が南郊に柴を焚いて天を祭り、五穀豊稔を祈願したところである。この天を祭ることは遠く民國以前から行なはれ、天

北京は經濟的には天津ほどの活潑さを持たないが、再び政治の中心になるとともに、古くから東洋文化によつて培はれた、觀光都市としての位置は益々昂まつてゐる。

朱壁、黄堊を隨處に見る北京の町は、すでに町全體が一國の名勝舊蹟である。従つて、その觀光箇所も非常に多く、一通り北京を見學するとなれば、自動車で先づ三日を要する。

しかし一日で北京のアウトラインを見ようと思へば北海公園、萬壽山、宮城(内遊を除く)天壇を見學すればよい。

時に余裕があれば、二三日を費して、鼓樓、鐘樓、國子監、孔子廟、喇嘛廟、大廟、中央公園、故宮博物院、内庭、西山巡りをするを面白からう。

北京城は周圍四十支里(約六邦里)であるから大きな都市ではない。稍南北に長い方形で、二邊が二里半より少し長い位。しかも、街路は基盤の目のやうに整然としてゐるから、地圖一枚を手にしてぶら／＼するならば、車馬に乗らなくても容易に視察や所用が足せるのである。

内城の南には「交民巷」があり、その北側には「紫禁城」がある。この紫禁城を中心に東側を東城、西側を西城といふ、その「東城」には「東單牌樓」と「東四牌樓」がいかめしく、否きらびやかに聳びえ「西城」には「西單牌樓」と「西四牌樓」があり、これが誰も

子の特權とも見るべきものであり、祭天の靈場が、この横に莊大に作られておることから考へても支那民衆の天に對する畏敬の念の如何にあつきか察せられる。

以上の舊帝室の建物は、何れも豪華な大理石の基壇の上に建てられ、釉藥のかゝつた黄や、綠や紫色の堊と、丹精を凝らした斗拱等全く絢爛眼を奪ふ程のものであるが、春ともなれば主なき離宮の大理想の内に庭には名も知られぬ雜草が花をつけ、國破れて山河あり城春にして、草木深し」の感慨を深うする、「北の息吹きが日と共に脈々として漲りつゝあるのである。」

「東安市場」大衆の安値な娛樂街として親しまれてゐるものに、東安市場がある。王府井の真中透りの東側一帯がこの東安市場である。こゝは丁度東京の淺草の様にごみ／＼した所で、反物屋、化粧雜貨屋、煙草屋、首飾屋、洋服屋、骨董屋、花屋、喫茶店、飲食店本屋、或は支那芝居等ありとあらゆる店が、凡そ六百軒近く軒を並べてゐるのである。この中を支那人は勿論、日本人、蒙古人、董毛人等老幼男女が踵を接して歩いてゐる。實際こゝに來れば大抵の買物には事缺んし、遊びにも撞球、ピンポン、さては露天の手品や寄席等々であるのだから漫然と見て歩くだけでもなが／＼面白い。たゞ品物は餘り高級品はなく例によつて掛値やインチキが常套となつてゐるから要心すべきであらう。

△遊覽バス (料金 六圓)

遊覽バスは北京站を出發九時半で所用時間約七時間。八時半頃より左の市内ホテル廻道して旅客を收容の上北京站を出發することになつてゐるから豫めボーターに話しておくを便宜である。

單獨視察者 は市公署管理總局の觀光バスを利用するのが便利である。

第一コース

東華門—景山—古物陳列所—五塔寺—萬壽山—天壇

入場料其他一切包含 所要約七時間 金五圓

第二コース

東華門—雍和宮—孔子廟—國子監—鼓樓—故宮博物院—

北海—中央公園—交民巷—太廟

入場料其他一切包含 所要約七時間 金四圓

兩コース共毎日午前十時東華門前の發着所より發車する。尙同發着所より萬壽山のみの觀光バスが一日數回あり、往復一圓入場料を合むてある。

翠明莊、北京飯店、王府井ビュートロ、哈達門ビュートロ及都

ホテル、扶桑館、櫻ホテル、

△電車全區 十錢

△市内バス 一區間一〇錢 二區間一五錢 三區間二〇錢

四區間二五錢

△旅館 昭和ホテル、ヤシマホテル、燕京ホテル、東京旅館

松風館 (五圓—十二圓)

△土産物 毛皮、翡翠、寶石、骨董

北京 小唄 (祇園小唄の譜)

一、霞たなびく 紫禁城 二、緑したる 萬壽山

昔ながらの 紅の壁 そよぐ夕風 昆明湖

黄瓦に かゝる糸柳 畫舫の灯 うるひし

淡き緑ぞ はかなけれ 君が姿ぞ しのばるゝ

北京なつかし ゆかしの都 北京なつかし ゆかしの都

三、長城萬里 雁わたり 四、しのぶ逢ふ夜に 湯山の

紅葉色添ふ 居庸閣 沙河の千鳥の 聲凍る

並ぶ山輪 しつぽりと つもる話を 雪の窓

濡れて嬉しい 村時雨 夢も結ばず 明けの鐘

北京なつかし ゆかしの都 北京なつかし ゆかしの都

◆通州と通州事件

「通州」は北京の東方二十五軒、汽車で僅か五十分で達せられる支那事變以前は、舊冀東防共自治政府の所在地であつた。

昭和十二年七月二十九日冀東保安隊約三千名の爲に我が同胞二百六十名が婦女に至るまで虐殺されたことは吾人の記憶に新たなるところ、日本人として永久に忘れることの出来ぬ土地となつた。

當時犠牲となつた同胞の靈をなぐさめるため、今は慰靈塔が建立され年中禮拜者の捧ぐる香煙は絶え間なく訪ふものをして涙新たならしめてゐる。

△乗物 北京と通州間 九圓

◆京包線に乗って

北京を發つて一路西進する京包線の列車は、南口附近から次第に上り勾配となつて、速度を緩める。

南口から八達嶺までの青龍橋に至る間は、溪谷相つぎ、車窓には懸崖深谷が展開し、いはゆる、居庸三關の絶景である。

三關とは南口、居庸關、上關を指し昔から「八達嶺破るれば、上關にて防ぎ上關利あらざれば居庸を守り居庸支え得ずんば南口を死守し、若し南口陥らば北京危し」と言はれる北京地方の要塞である。秦漢の昔には、半里に一烽臺、一里に一堡壘をおいて朔北の敵に備へたといふが、今は壞れ果て、纔にその跡を留むるだけである。曲折する溪谷の合間に、廢壘、荒城が隠見し屹立する峻峰と共に、雄大莊嚴の氣が身に迫るのを覺える。

列車はマレット大型機關車に後から押されながら三十分の一の急勾配を啼ぎつゝ青龍橋に達し、此處で更にスイッチ、マックして、やがて三十六百尺の八達嶺隧道にかゝる。

この隧道の眞上を横切る長城は高さ十五尺から三十尺、厚さは基部に於て二十五尺、嶺の頂に立てば、左右の谷から嶺へ、嶺から谷へ蜿蜒長蛇の如く連る内長城の景觀を心ゆくまで味ふことが出来天險の二字を刻む上關の關城を眼下に見下るせるのである。

古跡名勝多き康莊城、周、隋朝時代の首都であつた懷來城、蒙古貿易要點新保安城などを過ぎ宣化城につくのである。

宣化驛に近づくころより氣候頓に冷氣をおぼえる、こゝは北支經濟開發上鐵礦資源の隨一である龍烟鐵礦山を控へてゐるのである。埋藏量一億噸と稱せられ品質又良好で前途洋たるものがある。

宣化驛から約二十五分で張家口驛に着く。

◆新蒙古の首都張家口 (人口十一万人 内地人一万九千人)

張家口は萬里長城に設けられた約三十の關門の一つで山海關と共に軍事上の要地とされてゐた。

光緒二十八年、即ち明治三十五年、露支條約によつて商埠地として開放され、後に京包線がこの地に延長されると同時に驛の附近に新市街が開け、長城の内外に亘る細長い舊市街と清水河に架された

橋によつて連絡してゐる。

もとは、察哈爾省の省城であつたが日支事變によつて、蒙古聯合自治政府の首都として、新たな發足が始められ北京以北に於ける政治的中心地であると同時に、最大の商業都市である。

約三百五十年前から、この地は馬市を開いて蒙古と交易してゐたが今日でも蒙支貿易の關門をなしてゐる。

殊に面白いのは昔ながらの駱駝輸送でこの一帶七百萬頭の駱駝が蒙古との交易に使役せられてゐる様はこの地ならでは見られぬ景観である。

#### △名所

「賜見山」山の南方には子授けの廟雲泉寺がある。この寺は十

二の廟宇からなり一帯は一大聖境である驛の西北二邦里、この山頂に至れば市街は一瞬のうちにをさめることが出来る。

雲泉寺の山門に入れば壁の如く直石崖の下に瑣國泉（水洞）汎珠泉（水洞）と稱する二泉があり何れも深さ一丈。餘水洞は四時清水滴々として外に溢れ、水洞は四時水を以て閉されて盛夏酷熱の候でも溶けることがない。この靈泉の水を掬飯すれば兒を賜ると言ひ傳へられことからこの名がある。

「本田ヶ丘」は昭和十二年わが本田部隊が張家口の死命を制したところで、今は部隊名を書いた記念碑が建立されてゐる

その他、森林公園、太平公園、赤城温泉等がある。

△乗物 タクシー 一時間以内 五圓

△市内バス 一人 一〇錢

△旅館 日本旅館、福榮旅館、富士屋ホテル、富士屋旅館、察南ホテル、都ホテル、鶴屋ホテル、廣島旅館

（五圓—十六圓）

#### △土産物

北京、天津その他で賣つてゐるものと大差はない。特殊なものとしては、らくだの玩具がある。ほんものらくだの毛で作つたもので一箇一圓位からある

#### 旅行注意

○日本、滿洲方面から張家口に赴く時は旅行身分證明書を持つこと

○蒙疆では蒙疆銀行券の外通用しないから南口、張家口又は豫め北京の驛で兩替してをくこと

○毛皮搬出は關係官憲に問合すこと

#### △大同（内地人 人口八千四百人）

大同は山西の平城と呼ばれ、其の開市は古い。市は宏壯な城郭を以て圍まれ、商舖の既盛は、稍張家口に劣るが

「石炭の都」として、有名である。この大同炭の品質は滿洲撫順炭と匹敵し、其の埋藏量は實に四百億噸と推定せられ將來吾工業界に一大活力を齎すことであらう。

△名勝古蹟 上草嚴寺、下草嚴寺、南善化寺、九龍壁、曹福廟、文廟、清真寺、東華嚴寺、善化寺

△旅館 晋北ホテル、大同ホテル、山西ホテル、日の丸旅館、松屋旅館、九州屋旅館

△乗物タクシー 一時間 五圓十五錢

バス（驛—城内） 一〇錢  
觀光バス（驛石佛往復） 二圓

△大同石佛拜觀料金

大人 五〇錢 生徒學生 二〇錢

#### ◆雲崗石佛寺

大同石窟は支那が世界に誇るべき大藝術である然し從來は支那人士の間にも餘り知られず、發見されたのも極く最近のことである。

即ち建築學の權威者伊藤忠太博士が、明治三十五年六月横村省三氏、宇都宮五郎氏等と共に踏査の途上偶然に發見したものである。

場所は大同から西行すること二十軒武周山中の雲崗村にある。

木村莊八氏によれば「雲崗の崖はその一部三四町の間は蜂の巢の凸凹の穴の中、穴の各面、巢の外面に殘らず浮彫があると思へば先

づ當ります」とある様に高さ二〇メートル餘の佛像を彫石窟がいくつもあり、それ等の大佛像を取りまいた中、小佛像の数は幾十萬あるか判らない。

唐時代、その佛像に一つ一つ禮拜して餘生を過さうと發心した支那の老人が、逆もその願望を遂げ切らぬ中に死んでしまつたといふほどであるから實に無數と言はなければならぬ。

さて、この偉大な彫刻の大事業は、大同に都してゐた北魏の大安和平安間に僧「曇曜」が文成帝に遺言して勅命を得て先づ五ヶ所に開窟したのを手始めに、爾後、幾人も仕事をつぎ約五十年の長い日子を要したと見られ、往時はこれ等の石窟に十指に餘る程の寺があつたとのことである。

この發願の原因は文成帝の父「武帝」が道教に擬つて廢佛方針をとつたので、その罪劫消滅の意味でかくも大がかりな開鑿を行つたといふ説がある。

だが雲崗の石佛はその古いこと、多數あることの爲に貴いのではなく、その一つ一つの彫像のもつ藝術的價值に於て勝れてゐるからで、「作品として見るときはさながら藝術の洪水の音を身近かに聴くやうな氣がする」とさへ言はれてゐる。

かつてこの地に約半ヶ月滞在して具さに石像を鑑賞した木村氏の如きは次のやうに言つてゐる。

「支那には美術館といつてチャンとした美術館は昔も今も頗々政  
 亂の國故よく出来てゐないが、大同の石窟は立派に一箇の美術  
 館で、そこで見學も出来れば素描も引けるし又見て技法をいろ  
 く納得することも出来る。およそ支那へ行くなら大同へ行か  
 なければうざだと思ひます。私は支那藝術に大いに満足して歸  
 つて來ました……」

◆天津商業都市 (人口 内地人五万五千人)

人口内地人五万五千人天津は一八六〇年北京條約に依つて開港さ  
 れた街で白河の河口から汽船で約三時間、北支隨一の開港場であり  
 その股賑さも北支第一位である。何分その背後地には河北の沃野を  
 始め河上一帯から蒙疆山西方面をも控へてゐるだけに、こゝに集散  
 する物資は莫大な數に上り近年に於てはその貿易額は三億圓を突破  
 してゐるといへれる。

また此處は各國東洋送金の足溜りであつただけに、外國人の多い  
 のも上海に次いで多い。  
 もともとこれ等の外人はそれぞれの國の既得權の上に立つた所謂  
 「租界」を作り經濟活動をやつてゐる所だけに、天津は要するに商  
 業都市であつて、北京を我が京都とすれば天津は丁度大阪に相當し  
 北支五省の門戸として重きをなし、大貿易一港たるばかりでなく、

東西に走る京山線と、南北に縦走する津浦線は天津に於て直面に交  
 はり朝鮮の釜山と北京を結ぶ直通列車と北京と南京の兩首都を結ぶ  
 列車も毎日この地を經由し交通上より見ても日滿支の樞要據點に當  
 る。

天津の生命線とも云ふべき白河の名は百から一を引いた九十九折  
 の河流を表したものださうで、河幅も河口も約三百米で黄土の爲こ  
 一ヒールクのやうに濁つた流れの中を萬潮を利用して一千數百噸  
 の船舶が自由に通航してゐるさまはこの地ならではの見られない風景  
 である。

此地繁昌の樞軸をなす、商業的大動脈は、佛租界から起つて、日  
 本租界を貫き支那街に通じ、日本租界はさながら天津商業界の心臓  
 を占め近年殊に邦人の進出目覺しいものがある。

隨つて天津は北京程には親て廻るところは持たないが、各國の租  
 界や夫々の異風景や此の地特異の架橋など吾人の目を引く。

「萬國橋」天津第一の名橋で天津站より佛租界に到る白河に架け  
 られたもので國際管理であるところから萬國橋の名がある。白銀  
 色の近代橋で毎日二回定時に丁度鐵道踏切の開閉機のやうに眞中  
 から上部へ向けて開く所謂跳上式の装置が施され此の間に船上  
 下に航行する仕組みになつてゐるのである。

「李公詞」李公詞と言ふのは、日本人には例の下關係約でおなじ

みの李鴻章を祠つたものである。支那街にあるさきの河北總督衙門  
 の西に作られたもので、光緒三十一年即我が明治三十八年の建立で  
 ある。正面には光緒帝の筆になる「功昭翊贊」の額が掲げられ如何  
 に皇帝の親任の厚かりしかを物語りそゝるに李鴻章の盛時を偲ばし  
 むるものがある。

須彌柱には袁世凱の筆に成る詩が書きつけてあり、又葬儀の時に  
 用ひたといふ彼の履歴を、書いた札なども保存せられてゐる。

◆天津租界と公園の國際色

天津の外國租界は、北清事變後に設置されたもので、最初は、日  
 英、佛、伊、獨、露、白、奥の八租界であつたが歐洲大戰によつて  
 獨、露、白、奥の四租界は回收され、現在残つてゐる各國專管の租  
 界は日、英、佛、伊の四つだけである。

各租界は、各國思ひ／＼に自國の文化を取入れて經營した、だけ  
 あつて、道路に建物に、或は交通巡查の服装に、各國國民性が流露  
 してゐて、各租界共独自の風格をもつてゐるので、一寸各國の縮圖  
 の様な感じがする。

各國の租界には、大和公園、ウイクトリア公園、フランス公園  
 イタリー公園、ロシヤ公園といふ風に、小さいながら、皆それぞれ  
 に特異な風格をもつてゐる。

英國租界のウイクトリア街にある、ウイクトリア公園は一才庭園

といつた様なこぢまりした公園であるが、中に北清事變の記念碑  
 があつて、周圍にはアカシヤの並木が整然と立ち、花壇や芝生が丹  
 念に育てられてゐるところなど、さすがに英國風である。夏の夕べ  
 には、中央の音樂堂で奏樂が行なはれ、遠く故國を離れた西洋人た  
 ちを慰める。この公園は英國租界の中でも目抜き商館街に面して  
 ゐる關係上、支那人は殆んど見られず、晝は紅毛人の子供の遊び場  
 となつてゐる。

フランス公園は音樂堂を中心とした圓形の公園で、園内にジャン  
 ダークの記念像があり、外に一抱へほどの白楊が、亭々と立つてゐ  
 るに過ぎないが、その無雑作な「たゞすまい」がバリヂャンには切  
 ないほどの郷愁をそよるといふことである。この公園は天津きつて  
 の盛り場に近く夜ともなれば猥雑な、支那商店街の喧騒の聲が潮騒  
 のやうに、流れて來る、公園の附近には、落魄したコスモポリタン  
 や闇の女が夢の様に彷徨する。

△視察順路

半日の場合 天津神社—日本總領事館—東馬路—市公署—鼓樓  
 —特二區—イタリー租界—萬國社—フランス租界—イギリス租  
 界—梨棧中原公司

一日の場合 天津神境—日本總領事館—三不管—東馬路—市公署  
 李公詞—河北公園—佐衣街—鼓樓—海先寺—梨棧街—フランス公

園特一區—白河—ビクトリア公園—萬國境イタリ—租界—中原公司

△乗物

○タクシー—貸切一〇間以内四五圓—一時間以内八圓バス  
(觀光バスナシ)

天津北站—中原公司 二〇錢

天津站—中原公司 一〇錢

萬國境—小線庄 二〇錢

中原公司—特一區 二五錢

○電車 一區間 三錢 二區間 五錢

△旅館

大和ホテル、芙蓉ホテル別館、常盤ホテル(九圓、十九圓)

天津ホテル(六—一〇圓) 芙蓉ホテル本館(五圓—九圓)

△しやげもの

一般支那土産物と大差なく北京あたりと同一であるが、其中特に天津人形は郷土藝術品の匂ひ高い獨特のものである。美人のものは佐衣街の同隆武者ものは宮北街(何れも支那街)の天興成が好い、

◆水郷・濟南(人口四九万人 内地人二万八千人)

濟南は古くから水運と車馬輸送の便に恵まれて山東の經濟中心となつてゐたが、津浦膠濟線の開通によつて、天津、青島、上海の中心に位置して一躍支那有数の都會となり北支では北京天津に第三の都會である。

この地は遠く春秋時代齊の地で東洋文化の發祥地と謂はれ、上代の帝王、聖人、偉人は何れも濟南を中心とする黄河の流域に輩出したのである。

濟南の城内外は史蹟名所に富む。わけても北支隨一の水郷の稱があり隨處に清冽な泉が湧くので、これになぞらへたものが多い。濟南七十二泉中最も有名な「趵突泉」や昔太公望が釣したといはれる釣魚臺が南門外の黒虎泉の附近にあるまた大明湖は周圍約二里に及び城内の約三分の一を占領し湖上には來遊の文人墨客を迎ふべく絶えず飾りたてた畫舫が繋がれてあつて一般娛樂地として有名である。一方市政府では此の水量の豊富と水質のよい點から淨水設備を完成して一般給水を行ひつゝある。

◆黄河

黄河は源を速く青海の山麓に發する蜿蜒一千餘里の大水路であり黄河こそはまことにアジアに撼動する大動脈である。東洋文化はこ

船は四時輻輳して商況股賑を極めてゐる。

「黄河の大鐵橋」は東洋一の稱があり稍その上手に架けられ一九〇九年九月起工して以來四ヶ年の歳月と約六百万元の巨費を投じて一九一二年十二月竣工せるもので、その全長四一五〇尺と稱され、その橋脚基礎工事は技術上の最善を盡したるもの傳へられる。本日支事變に敵は敗走の際爆破したが日本架橋技術は短時日の中に復舊せしめた。

若し自動車を驅つて此處に至れば約三〇分にして三千年の歴史を秘めて滔々流れる黄河の流れに巨然と跨る大鐵橋に接し得べく、その壯觀又實に賞するに足るものがある。

△視察コース

站—商埠地—公園—日本總領事館—忠魂碑—趵突泉—廣知院  
千佛山—黒虎泉—城壁ドライブ、ウエイ北極廟—鐵公詞—小清河—圖書館—黄河—站

△乗物

自動車貸切一日二十四圓  
時間 商埠地内 二圓(一時間 四圓)  
バス 一區 五錢(一時間四圓五〇錢、一日四十圓)

△旅館

蓬萊賓館、鶴屋ホテル、金水ホテル、大和ホテル、濟南新館

◆黄河と鐵橋

百年河清を俟つと謂はれるほどに沙土の流下甚だしく、黄河は又濼口碼頭濟南を距ること東北約三支里に於て濟南に臨み上下する民

の流域から發祥したと謂はれ、悠久四千年支那の歴史もまた黄河を中心としてその變遷を見る。水を治むる者國を治むの謂の如く、黄河の演じた役割は政治的にも經濟的にも文化的にも經濟的にも文化的にも甚だ大きいのである。有史以來幾度か氾濫し、その度に河床を遷す黄河、百年河清をまつと謂はれるほどに濁流をたゞへて流れる黄河、この黄河こそは世界にまれな性格を持つものであり、支那の歴史と宿命を共にするものである。ノ

最近に於ても昭和十年の氾濫、同十二年の大洪水があつて、これによる罹災民は實に五百万人上つてゐるのである。一度黄河が氾濫すれば河南、河北の平原を大泥海と化し、民衆をたゞき込んでしま

うのである。現在の河道は昭和十三年支那軍が皇軍の進撃を阻止する爲開封西方の堤防を決潰したので南方に流下してゐるが、それまでは河南から北上して濟南の北郊を通り渤海に注いでゐたのである。

この舊河床は沙漠状を呈してゐる箇所もあるが濟南下流は水をたゞへ華北交通の小舟が往來してゐる。



(六圓——一二圓)

歴城ホテル、箱根旅館、紅葉館 (五圓——八圓)

△みやげもの

特産として肉類の加工品がある

ドライ、ビーフ(乾かした肉)

パテント、ビーフ(同)何れも一圓五〇銭見當

### ◆日支事變の發端地蘆溝橋

蘆溝橋といへば日本人では誰一人しらぬものはないだらう。忘れもしない昭昭十二年七月七日夜半、我が豊臺駐屯部隊の一部が夜間演習中、突如宋哲元麾下の不法射撃を受け日支事變の導火線となつたところである。

彰儀門外約二十五支里の西方永定(北京西直門外約二十五軒)河に架せられた長さ約二五〇メートルの大理石の泊て蘆溝橋曉月の北京八景の一として支那人には喧傳せられてをり。又マルコポーロの旅行記の中にこの橋が書かれてあり汎く世界に紹介せられて歐人はマルコポーロ橋とよんでゐる。

### ◆支那第一の名山泰山

「泰山鳴動風一匹」と大いなる原因に對して小なる結果を表す場合によく引用せらるゝ古諺であるが、泰山はそれ程に支那に於ては

大いなるものゝ代表とされ丁度吾が富士山の様に一般に親しまれた山である。

山としては海拔約一千六百米といふから大した高山ではないが、大海原の目を遮ぎるものもない山東の大平野に突兀として聳え立つ一大岩山「泰山山脈」の巍々たる偉容は、さすがに支那第一の名山たる靈氣を有してゐる。

濟南の南七十二キロ、津浦線の列車で約二時間ばかりで泰山驛につく、此處より下車して登るのである。

驛から約十軒で健脚の人なら、日歸りが出来る。觀光のための旅客は支那式の山轎を備へばよい。登山道には、多数の廟や、坊などがあるが、頂上に近く「泰山に登りて天下を小にす」といつた孔子登臨の處に孔子廟が立つてゐる。

### ◆孔子を祀る曲阜

曲阜は、泰山の登山驛から更に南に六十七キロ、津浦線の列車で約一時間半行程のところにある。

この地は、今から二千四百有余年余前東洋道徳の範を示した、「孔子」が呱呱の聲を上げ、また晩年、六十八歳から七十三歳を以て卒するまで六年の間禮を修め、樂を正し「春秋」を筆削した彼の終焉の地なのである。

曲阜縣城は、曲阜驛から廣々とした耕地と、泗水の諸流をへだて、約十二キロの地點にある。  
城の南半の大都分は、孔子の祀つた聖廟になつてゐる。  
聖廟から城内に出て約一五キロ行つたところに、孔子をはじめその子孫の墓地「聖林」がある。  
周圍八軒に亘つて高さ三米の牆壁がめぐらされ、宛然一大城塞をなし塋域は實に五十四万坪といはれ、老柏鬱蒼として森嚴の氣が漲つてゐる。

### ◆青島 (人口五〇万人 内地人三万一千人)

青島は、天津につぐ大貿易港で、その位置は、山東半島の突端に近く我が霞が浦を横斷する北緯三十六度の線上にある。  
五十餘年前までは、さゝやかな一漁村にすぎなかつたのであるが當時東洋制覇の野望に燃えてゐたドイツは明治三十一年十一月、ドイツ宣教師二名が暴民に殺害されたことを理由に膠州灣一帯を占領翌年三月支那政府にせまつて、獨支條約を締結、こゝに、年來の宿望であつた膠州灣一帯の(青島を含む)の租借と山東鐵道(現膠濟線)の敷設權並に沿線鑛山を獲得爾來十六年間孜孜として青島の建設に邁進したのである。

しかる歐洲大戰の結果日本は獨逸の經營せるあとをついで八ヶ年

間其の管理に當つたのであるが大正十一年十一月ワシントン會議の決議にもとづいて、我が陸海軍將兵の尊い犠牲と多額の國帑によつて贏ち得たこれ等の利權を、わづかに山東鐵道の借款權を保留したのみで、ほとんど無條件で支那に還附したのであつた。つまり青島の生みの親がドイツであるならば育ての親は日本なのである。年移つて今日、日華提携の下に新青島建設の諸相をみるにつけてまことに感慨深いものがある。

青島よいとこ誰が言た、後は禿山前は海

と曾て俗語に歌はれた青島の町は、今は潤葉樹に蔽はれた、丘陵の麓に擴がる海沿ひの町で、海岸線は勿論、背後を縫つて、幅員二十四米乃至十二米のアスファルト道路が縦横に走り、赤い屋根を持つ堅牢なドイツ式大廈高樓が木の間がくれに隨處に隠見してゐるところなど、さすがに往年のドイツが自國の文化を擧げてこの地に東洋の小ベルリンを建設しやうとした抱負が偲ばれる。

市内の内外には公園が多いが殊に旭山の斜面を取入れた、第一公園と、小青島に臨む長汀曲浦を利用した海濱公園が代表的なもので第一公園の櫻は青島名物の隨一で樹種は全部日本産で、樹齡二十數年に及び開花の季節は市街の一角に、薄紅雲のたなびく如く、夕陽に映へた様は見事なものである。

海水浴場も、忠の海舞鶴濱、三日月濱其他五箇所ばかりあり、

毎年夏になれば天津、北京遠くは上海、南京、漢口、香港あたりから、一千数百名の内外人避暑客が殺到し海濱を賑はすを例とする。

### 青島と日本古代を巡る史實

今を去る四百年前、秦の始皇帝は國內巡遊の砌、青島郊外の嶗山にのぼり蒼茫たる東海を望んで「朕かれて東海の蓬萊島日本に不老不死の靈藥ありと聞く、朕が爲之を求めよ」と詔しこの命を受けた扈從の臣、徐福は一千人の童男童女を伴ひ直ちに青島を船出したが途中嵐にあつて難船、遂に紀州熊野に漂着、復命の機會を得ざるまゝ此の地に没し今も尙徐姓を残してゐると謂はれる。

次にわが仁明天皇の御宇（約一千年前）に慈覺大師は佛法の秘奥を極めんとして入唐し支那各地を巡遊したが、山東青州に於ては隆興寺即ち現在の「文昌宮」に駐錫したのであつた。今尙存する、慈覺大師の塔や、大碑文は訪ふものをしてそぞろに、千年の昔に足跡を印した日本人の偉大さをしのばしめるものがある。

又鎌倉、足利時代より徳川の初期にかけてわが八幡船が支那沿岸はもとより遠く呂宋諸島や、馬來半島に迄横行したのであるが支那人は之を倭寇と呼んで恐れ山東の海岸には當時の防備に使用した要塞が散在せるも青島郊外二里の浮山所にもその遺跡の存するを見る

#### △乗物

觀光バス 大人二圓 子供一圓 軍人學生二割引 タクシー一

五分以内二圓 一時間 七圓二〇錢

#### △ホテル

華北交通經營の東海飯店

### 太原山西の寶庫（人口十二万人 内地人一万三千人）

閻錫山が、山西モンローを標榜して、廿餘年に亘つて、山西の經營に當つた太原は、省内第一の都會となり、事變後は更に其の面目を一新しつゝある。

事變前太原に住む邦人は、僅かに二千數人であつたが、昭和十二年十一月皇軍入城以來急激なる増加振りを示し、昨十五年十一月に於ては一躍一万三千の多數となり、大日本居留民團の誕生さへ見るに至つた。

日本人小學校も既に一千名以上の兒童を擁し、本年四月からは、日本人高等女學校も開設に決定するなど、實に目覺しい躍進振りを示してゐる、

市街も城内目抜き場所といへば、橋頭街、首義門通、柳巷街等々であるが、これ等の繁華街はいづれも、その昔、ネオンサインに彩られた東京新宿位の外觀を充分に備へ異狀な活況を呈してゐる。又北門外には幾十の各會社の工場があり煙突の林立せるあたり實に壯觀で、中國人職工の面上にも明朗山西の希望が溢れてゐる。

### 徐州

津浦、隴海兩鐵道の交叉點徐州は、山東、安徽、河南に介在し、今次の日支事變に大會戰地となり、有名なタンネンベルグの大包圍戰にも勝る大勝利を博した所で、又「麥と兵隊」の名著となり、廣く天下に其の名を知られた所である。此の附近には名勝舊蹟多く、黃樓は憂悶の詩人蘇東坡之を作り鬱々の情を歌つた所で、雲龍山は宋の武帝愛遊の地と云はれ、又唐の張天翼の隱退の地とも云はれてゐる。放鶴亭は唐の仙人の傳説で名高く、子房の高祖の出身地として有名で、又古の下（邳州所附近）は張良が黄石公に會つた地と云はれ、東南には項羽の出身地宿遷がある。また徐州は項羽の都した所でもある。

徐州市は開城以來發展の一途を辿り市内の建設事業も著々進歩しつゝあり日本居留民會も十六年五月から居留民團に昇格し益々躍進の途上にある。最近に於ける内地人人口約一万を數へ、當市に於ける唯一の大衆娛樂場金城戲院は從來華人の營業の爲、施設其の他の點についても充實を缺いてゐたところ、今度内地人の手によつて經營されることとなり、從來の缺陷を改善其の内容を一新して中國人の慰安及宣撫に努むるやうになつた。

#### △市内乗合自動車

徐州東站—太馬路—大同街—記念碑前（片道十錢小兒軍人半額）

### 漢口

長江を通航すること六百裡、そこに大廈高樓が建竝ぶ歐米式の近代都市漢口がある。戰前人口八十万長江を隔て、武昌に漢水を挾んで漢陽に對し、所謂武漢三鎮人口百四〇万の中支那奥地の最大都市である。

漢口の街は、八十五万坪の支那街と各國租界を併せて約七十七万坪からなつてゐる。長江は雲南、貴州、四川の物資をここに集貨し、又漢水は湘江、沅江、資江、澧江の諸支流や洞庭湖その他の運河、湖沼と共に、甘肅、陝西、湖南の物資を武漢の地に集中せしめる。鐵道は京漢線により北京に、又粵漢線により廣東に通ずる事變前までは水陸交通は四通八達し中支那經濟の中心地區として、今日の隆盛を見るに到つたのも決して偶然ではない。然し現在ではその一部より未だ利用をみてゐない。

漢口では、十一月の減水期と八月の増水期とは水位五十尺差異があり増水期は五千噸級の海洋船が漢口まで通航してくる。春になつて、西藏、雲南、四川の高山で零融けが始まると、その水が漢口に流れ着くころから増水し、七月頃には一日一尺以上も増る。そして減水期河底で出来てゐた市場は水嵩の増すに連れて、取り拂はれやがて浸々たる濁水がバンドの堤防を洗ふ様になる。冬漢口で水の涸るころの長江を見た旅行者には想像も及ばない現象である。

漢口は世界三不健康地の一に數へられてゐるがこれは酷熱の故ではないかと思はれる。

漢口の猛暑を表現する爲に次の様なことが言はれるが

「印度人が印度に避暑にかへる」

「雀が焼付いた屋根の上で足踏みし、果ては鳩鳥となつて顛落する」

「鶏が茹て卵を生む」

それ程に漢口の夏の暑さは格別である。

緯度からすれば我が種ヶ島と同位だが、海洋風を受けない爲と北には大別山が屏風の様になり東西に横たはり、南に湖南の山岳地帯が圍繞して盆地をなし丁度摺鉢の底にあるため、夏は河川、沼湖の水蒸気が上空に低迷し煙突の煙はまっ直に立昇り實に無風状態であらうなる

と何のことはない、蒸風呂の中に入つてゐる様なものだ。温度は晝夜の差もなく十二時すぎても室内八九十數度、机といはず椅子といはず温まつてゐるのでむん／＼する。

はだかであるても、全身から汗がどん／＼にじみ出て實に堪へ難く随つて次第に睡眠不足になる。

現在昭和十四年四月武漢三鎮を合して武漢特別市政府が生誕した

△旅館 中央ホテル (朝食は一〇圓——一八圓)

揚子江ホテル (五圓——一五圓)

富貴館 (五圓——七圓)

### 南京

南京のよきは澄みきつた空氣とその靜寂である。

上海の雑踏と喧騒とを経験して南京の地をふんだ人はこの地の落ち着いた感じと郊外の自然美を證えて歸へるのが常である。

周圍三千四軒(約九里)支那第一の稱ある城壁の裡には、山あり河あり、島地あり、さうして樹木は繁茂し、郊外の中山陵、明の孝陵、玄武湖等々數多くの古蹟に恵まれてゐる。

又自然に恵まれた南京は、四季の移り變りがあつて時々の風情を異にし、日本人にとつては住み心地のよい土地である。

城は南東、鐘山の麓から西北、揚子江岸に亘り高さ三十尺乃至五十尺、周圍三十二哩の城壁を繞らし市街は東南半部一帯に展開してゐる。城内は儀鳳門を始め十三門を開き聚寶門内は最も賑やかな商業區を占め、洪武門を入れれば有名な明故宮に達する街路がある。

西北には洋々たる玄武湖を控へてゐる。

道路は大別して四條あり、市内の交通には人力車、馬車、自動車以外には全市を環流する秦河の運河と江寧鐵路があり最も利用される。

△名勝地

戰蹟並名勝見學はタクシー、或は馬車人力車等があるが、經濟治安等の關係で一番便利なのは華中市遊覽バスを利用した方がよるしい。

發着地 新街に、ロータリー正金銀行正金銀行側

發着時間 午前九時—午後二時(一廻巡覽時間三時間半)

料金 大人三圓 小供一、五錢 軍人二、五錢

コース 玄武湖—鷓鴣寺—舊軍官學校—陵孝明—中山陵—革命

記念塔—先華門—夫子廟

△旅館 宇來館(八圓——二五圓) 泰小閣(八圓——一五圓)

大和新館(八圓——一〇圓)

△みやげもの

絹織物、唐木細工、南京織、皮類其の他骨董品

### 蘇州

古名を姑蘇又は平江と言ひ、大運河と蘇州河の合流點に位し近くに太湖を控へ江蘇屈指の大都市で、兵燹幾度かを經て寂しくうらぶれてはゐるが數奇な歴史と悠久なる自然は宛ら吾が京都の街を思はしむる。

美人郷として人口に膾炙せられ「月落烏啼……」の詩を以て知られる、寒山寺の所在地として、又支那のベニスとして、餘りにも有名

「明故宮」 朝陽門内にあり、明初洪武帝の宮城のあつた處で現在では宮城、壁悉く太平賊、及革命軍の兵火で灰燼に歸し、五龍橋と冷宮が僅かに残存してゐる。

「血碑亭」 明故宮に在り、才孝儒の遺蹟で、才孝儒は燕王に順逆を論じ罵つた爲め、極刑にされた人である。

「明孝陵」 朝陽門外三哩、鐘山の南西獨龍寺に在つて明の大祖洪武帝の山陵で馬皇后を合葬した處で、規模廣大であつたが長髮賊の亂に兵火に罹り址礎のみ残つてゐる。

「爾徐の皇陵」 朝陽門から東方約八哩、麒麟門に至る間にある十三陵の中第三陵である。

「朝天宮」 城内水西門附近にあり周圍に廊壁を繞らした宏壯な建築で、正門は常に閉され來訪者は門錢十仙乃至二十仙を投與して傍の持敬門から入ることになつてゐる。

往昔吳王の佩劍を鍛冶した所と傳へられる。

「中山陵」 市内を南北に貫く中山路の行き止りに設けられたもので革命の元勳にして、新支那の生みの親、中山先生、孫文の陵墓で一般民衆の尊敬の的となつてゐる。

別に鷓鴣寺、施食堂、臺城、幕府山、獅子山、石頭城、烏龍潭外數多の古蹟名所がある。

△乗物

な古都である。

城廓を繞らし其の周圍には運河を開鑿し五箇の水門を設けて、城内外水運の便を圖り、之の用水路は大街を根幹とする幾多の大小街路と交錯し、水溝には至るところ、弓状の樹橋を架して交通の連絡を保ち、所謂姑蘇三千六百橋と謳はれた獨特の風景に、白壁造りの家間を縫ふクリークに小舟を浮べて集ふ様は、一幅の繪であり、又詩でもある。

#### 名勝地

「天賜莊」 葑門（東部）内にあり外國宣教師の占居する一帯で教會堂其の他大小の洋風建築立ち並び蘇州城内の一異觀である。

「孔子廟」 盤門（西南隅）農事試験場の東隣にあり、結構の壯麗なること、江南稀に見る處で内部儀門の内側宋代の蘇州圖があり戟門には有名な天文圖及び本廟重建碑がある。

本廟の正殿を大成殿と言ふ。

「滄浪亭」 孔子廟の東、宋の蘇子美の居のあつた處で風景頗る幽雅、百五名賢祠には清朝以前の蘇州の大官五百六十名の遺像及び題贊が刻つてある。

「玄妙觀」 圖妙觀とも云ひ、觀前街にあり、唐代には開元宮と稱したのを元代に玄妙觀と改めた巍然たる大伽藍で樓門内に三清殿、彌羅寶閣、東嶽殿等がある。

「寒山寺」 府城の西方約三哩、楓橋にあり、唐代の開基であるが荒廢の結果現在の堂宇は近時再建したもので楓橋は唐張繼の夜泊の詩で名高い處、寺内には明朝の書家文徵明の刻した夜泊詩の古碑がある。

「寶帶橋」 盤門外東南約二哩、大運河と滄臺湖に架せられた大石橋で橋脚五十三、長さ千二百丈、漢の武帝の時初めて架設され後唐代に再建の時刺史王仲舒が自分の束帶を賣つて工事を授けた爲此の名がある。

「靈巖山」 府城の西北約十二哩一名硯石山と云ひ露出して奇岩怪石千態万狀を爲す、中腹に靈巖寺がある。

「天平山」 靈巖山の北面に對峙し山巖巖嶮として奇石怪石金山を蔽ひ、綠林の間に朱欄、白堊が隠見してゐる。山中に白雲寺其の他あり、晚秋紅葉の美觀を以て有名である。

「太湖」 蘇浙兩省に跨る支那有数の太湖で面積一千方哩、南北三十哩、東西四十哩、大小幾多の湖沼と脈絡し灌溉、舟楫の便極めて良く、水域附近には都邑無錫、震澤、平望、南潯、湖州が点在し江南の富源をなして居り風光明雅、漁産に富み白魚、鯉魚、銀魚等多額の收穫を示してゐる。

△乗物人力車、バスの便がある。  
寒山寺、庭園の美を誇る留園、北寺の塔、大平山、靈巖寺、虎

邱、滄浪亭、玄妙觀、孔子廟、獅子林

#### △旅館

繁廼家旅館（八圓—一五圓）  
他に敷島館、蘇州ホテル

#### △おみやげもの

内地方面への土産物は麻雀、絹織物、象牙及唐木細工、風景等が喜ばれてゐる。

### ◆杭 州

汽車から江南一帯の平野を展望すると田圃の中を帆掛舟が縦横に走つてゐる様が見られ、如何にも河川の國支那の面目を知ることが出来る。

杭州は支那廣しと雖も、その連峰の秀容を、碧水西湖の水色に依つて、之に右するものなく、全支に冠たる風光は、歴史の變遷にかゝりなく、永遠の美都として、普く人口に膾炙され、蘇州を日本の京都とすれば杭州は奈良とも謂へるところである。

昭和十二年十二月五日杭州灣金山衛附近に有史以來の皇軍敵前上陸の敢行があつてから越えて十二月二十四日占據された。市街は全く戦禍を受けず悠久の詩を何時迄も傳へてゐる。

名勝地「西湖と湖畔名勝」杭州城の西部にある湖水で四周連峰を

連ね、湖上及湖畔には幾多の名勝、奇觀があつて、好個の遊覽地である。古來文人墨客に愛好され、西湖十景又は三十六名蹟を列擧し、若くは七十二勝を算へて勝景を贊嘆してゐる。

#### △視察方法

觀光には遊覽を最上とし畫舫は孤山、湧金門外で雇へる。

其の他バス、自動車、轎、人力車徒歩等の種々の方法があり一概に何れが適するか申され難い。

方法に就ては杭州驛内ビュローに於て相談すればよい。

△乗物 タクシー 市内一圓五〇錢 時間貸五圓

湖畔一周は一五圓位である、旅館の自家用車を借りても略同様である。

△新新旅館（四五圓—一二圓） 常岡ホテル（五圓—一二圓）

旭ホテル（四圓—六圓） 他九州旅館、聚英ホテル

#### △おみやげもの

茶、絹織物、風景機、硯、碁石、其の他骨董品等内地には珍らしいものが多い。

### ◆上 海

（人口三百五十万 内地人七万五千）

國際都市として全世界に喧傳されてゐる上海も、遠くは百六十六年の昔は吳淞南岸にある一寒漁村に過ぎなかつたのであるが、阿片

戦争の結果、英國が勢力扶植のため、積極的に投資しあらゆる開發に努力したため僅か百年未滿にして世界の大上海と發展して來たのであつた。

往時から上海は支那の内亂に超越した安全な場所であつたので、支那財閥は各地から蠟集し、遂に新興資本閥である浙江財閥を作り上げ、政治、經濟の原動力となり事變前蔣介石の南京政府の覇業もこの財閥の支援に俟つところが大きかつた。

一方世界列強國の間に於ても自己勢力の角逐場であつたことも、見逃すことの出来ない事實である。

これがため上海は支那のもつあらゆる部面を代表する都會でよいにしろ、悪いにしろ支那が有する凡てのものは上海にあるといつても過言ではない。

緯度は丁度内地の鹿兒島に相當し、氣候よく「東洋のパリ」と稱せられ人口約四百万二十數ヶ國の人種が雜居し眞に國際都市としての偉容をそなへわが居留民の數は在留外人中の首位を占め、吳淞路、楊樹浦、浦東方面に居住し新東亞建設の推進力としてあらゆる部面に活躍がつけられてゐる。

市街は蘇州河のガーデン、ブリツヂを境界として、まるきり二つの世界に別けられる。

南側が共同租界、佛蘭西租界で邦人は普通「河向ふ」と呼んでゐる。

ながらの偉觀を呈すバンドから右の大街が南京路と稱し租界の目抜に當り、ガーデンブリツヂを渡つて租界に入れば日本金(軍票)は通用しないから必要な金額だけ虹口サイドの兩替屋(錢莊)を法幣に替へなければならぬ。注意すべきことは、支那では各銀行が紙幣を發行してゐるために、流通紙幣の數が種々雜多である爲、偽造紙幣や不通紙幣を握らされることがあるから、中國、中央、交通、中國農民各銀行券以外は受取つてはならぬ。

又租界内は治安が行届いてゐないやうだ。乗物等も電車以外は利用せないが安全で、よく地理不案内の邦人が人力車にのつて小路に引込まれ丸裸にされた例はいくらでもある。租界を見學する場合は先住者の注意を聞く必要がある。

見學すべきところは、南京路に面する永安公司、新々公司大新公司等の百貨店を始め新世界の歡樂街、近くの競馬場やセスフイルド公園等である。

#### △名勝地

「公園」公家花園、新公園、虹口公園、共同公園其の他の各公園が散在し設備は至れり盡せりて夏日の消暑その他綠地帯として美しく點景されて居り公家花園は在留外人専用の公園になつて居る。

「共同租界」共同租界の區域は最初曖昧なものであつたが一八六三年舊英米租界を合併してより凡そ其の境界を定めたが今日の如く判然と區劃されたのは一八九九年である。

共同租界の行政は參事會が之に當る、參事會員は各國立候補よりこれを決するものであるが英米の惡辣なる手段によつて、英米の多數を占むるところとなり依然として租界の行政は彼等により牛耳られてゐる。

行政權の外に警察權、司法權があり總稱して工部局と云ふ。警察官總員五千八百餘名、日本隊外人隊、印度隊支那隊に別れ日本隊約三百名ばかりである。

司法關係は主として領事裁判であるが、斯くの如く領土は支那でありながら主權は英米人に依つて統治せられ、市街は目まぐるしいまでの繁華と雜踏の中に白日の下にテロ團横行や各國の諜報機關の暗躍など、到底吾人には想像もつかない別天地で惡性事件の温床地として、この共同租界こそは東亞新秩序建設への障害となつてゐる。

北側は虹口サイドと稱し日本人が多く住まつてゐて、安全地帯である。

蘇州河に架せられたガーデンブリツヂを渡ると租界の人口をバンドと稱し各國の銀行、會社等の大廈高樓が楯比し歐洲市街さ

「記念碑」ハリバトクス氏銅像黃浦江畔に屹立してゐる。

ハリパークスは我國に駐割した後、清國駐劄欽差大使として敏腕を振つた人で英國の生れ像は一八九〇年在留外人が建設したものである。公家花園に常勝軍記念碑黃浦灘路にイルチニ號遺難碑がある。

「湖心亭」上海縣城新北門に在り破風造りの技工は精巧を極めて居り、附近は城内隨一の歡樂境として知られてゐる。

「龍華寺」城南約六哩吳の赤烏五年の建立になる莊麗な古刹で門前に七層の塔があり、結構幽雅、附近一帶の桃花と相俟つて江光風光中隨の感がある。

#### △虹口サイド乗物

華中バス(小型一圓 大型二圓五〇錢)

#### △戰蹟見學

毎日曜、祭日て華中バスが上海神社前から出發。

所要時間 三時間半

料金 三圓五〇錢(學生、小供 二圓)

コース 午前八時半上海神社發—廣中路表忠塔—八字橋—大場鎮—兩行鎮—市政府—敷島の庭—海軍墓地 以上の外 吳淞砲臺バスロケット地帯、楊樹浦等の激戰の跡がある。

△旅 館

万歳館(八圓―二五圓) 日の丸旅館

中央ホテル(六圓―一二圓)

△おみやげもの

紫檀、黒檀類、骨董、寶石、皮類

◆阿片と支那人

支那では阿片は百薬の長といはれ、痛みがとまれば病氣が治つたと心得て、腹痛、頭痛何かにつけて用ひられる。

實際に薬としては風邪ひきと下痢止には良薬ださうで、特に多妻な支那人には閨中の秘薬として常備されてゐるなどどうもまだ絶大な魅力を持つてゐる。

魔都といはれる上海では阿片に關する犯罪が非常に多い。

表面上阿片は禁賣になつてゐるので、入手する爲に種々苦肉の策が講ぜられて、ゐる譯である。

阿片の害毒に色々の事件が醸され毎日支那新聞の記事を賑はしてゐる。

阿片によつて支那が苦しんでゐることは御存じの通り、阿片戦争のために香港をとられ今日までに、數十億、數百億の計算することの出来ぬ莫大の損失をしてゐながら、阿片には思ひ切りがつけられ

ないのである。それ程に彼等にとつては阿片のもつ魅力は大きいのだ。

清朝の官吏と民國以後の諸政權はこれを財源となし、上は督軍省長より下は警察の巡査に至るまで、多少の役得をしてゐたことは支那の公然の秘密であつた。

一時國民は禁烟に名をかりて、一方に禁烟を強行する如く見せ、他方に變形の專賣制をしいて、財源にあてたことも周知のことで、支那と阿片とは切つてもきれぬ仲であることははや常識となつてゐる。

支那人自身でも重々阿片が支那に害することを知つて、支那より阿片を切り離さうとするしんでをり、阿片の害は賣るもの、吸ふ者までも、それ相當に自覺してゐるが誰一人として決然これを排除するものはないのである。

然し日本人には出来さうだ。東亞の爲に支那から阿片を除くことが實際に支那を憂ふる者の通念だ。支那より妖しげな阿片臭を一掃して東亞新秩序建設し阿片臭の消滅した新鮮なる氣運満ちた支那に盛り立て、行くことによつて始めて達成せらるゝであらう。



業務案内

一、滿鮮支案内所は南滿洲鐵道株式會社及華北交通會社が「日本朝鮮の大陸への認識を求め之が旅客又は貨物の輸送の便宜を計るため」に設けてゐる國策的奉仕機關であります。

一、鮮滿支地方の産業經濟、交通其他事情紹介、旅行の斡旋、旅行案内記贈呈、鮮滿支荷物運送及通關に關する説明を無手数料で致します。

一、鮮滿支事情の出張講演、映畫會展覽會資料及映畫の貸出、刊行物に依る紹介宣傳を無手数料で致します。

一、鮮滿支案内所は小樽、東京、大阪、名古屋、新潟、敦賀、門司、下ノ關、長崎の九都市に在り小樽は北海道、樺太を受持區域として前掲の業務を取扱ひ致します。

◆滿鐵鮮滿支案内所◆

小樽	稻穂町東六丁目電	四七五〇
東京	京橋區銀座二ノ一電京橋	三三八二
大阪	東區境筋安土町電本町	一七七八
名古屋	中區榮町一ノ一〇電本局	四七七二
新潟	古町通六電	二七七八
敦賀	驛前大通電	四一八
門司	門司稅關前電	二二一三
下關	下關驛前電	三二四七
長崎	萬屋町七九電	一九六二
		四七八八

昭和十六年十一月廿五日 印刷  
昭和十六年十一月三十日 發行

發行人 小樽市春日臺 白川 義 隆

編輯人 小樽市綠町三ノ八 城 畑 暁 人

發行所 小樽市稻穂町 滿鐵小樽鮮滿支案内所

印刷人 小樽市稻穂町東六ノ四 永井 新次 郎

印刷所 小樽市稻穂町東六ノ四 株式會社太陽舎印刷所



クーマ通交北華

所 內 案 支 滿 鮮 樽 小 鐵 滿  
通 交 北 華